

川越に来た「川越さん」 「義経フォーラム」から

上戸の常楽寺周辺に館があった、河越太郎重頼。その娘は源義経の正妻です。河越氏と義経の関係と、全国各地に広がる川越ゆかりの人たちと川越市を結ぶ「縁」を探るため、八月六日、メルトで義経フォーラムが行われました。

基調講演



「河越氏と義経」

川越市文化財保護審議会
会長・小泉功さん

秩父平氏の子孫である河越氏。河越太郎重頼から河越姓のみを使うようになり、源氏一族との結びつきを強めるため、重頼の娘が義経に嫁ぎますが、頼朝と義経の対立に巻き込まれてしまいます。河越氏が全国に広がったのは、鎌倉時代の守護・地頭制度、または元寇に対する防衛のため赴任し、そのまま土着したと考えられます。

全国に広がる川越の輪



基調講演の小泉さんと川越ケーブルテレビアナウンサー・坂井絵美さんが司会を務めました



川越重省さん(大仙市)

父は弘田八幡神社の宮司です。川越氏は代々宮司を務め、宮司名には必ず重頼の「重」の字を使ったそうです。私の家は、義経と重頼の娘に最後まで付き従った、河越氏の末えいかもしれません。



川越市長・舟橋功一

川越は多くの歴史的遺産に囲まれています。これらを有効活用し、恒常的な観光資源として活用したいと思っています。全国の川越ゆかりの人たちと協調し、観光都市としてさらに発展していきたいですね。



米山知行さん(川越市)

常楽寺第三十四世住職です。重頼の館「河越館跡」は国指定の史跡です。義経正妻のふるさと河越館跡の中にある常楽寺を、皆さんにもっと知ってほしいですね。



檀上洪司さん(高砂市)

西光寺第二十五世住職です。西光寺は鎌倉時代に創建され、開山したのが河越氏の子孫と伝えられています。第二十一世のとき、弟子の川越善来師が美唄市に善来寺を創建し、川越という姓は善来寺に引き継がれました。



川越宏樹さん(宮崎市)

出身は日南市です。私の家は日南市で御三家と呼ばれ、飢肥杉を全国に広めた家系です。重頼と義兄弟である伊東祐清の子孫が、鎌倉時代に日向国の地頭として赴任したとき、重頼の子孫も付き従ってきたようです。

まちのできごと

川越市の面積は109.16km²

109パレット



川越の未来予想図は……

ことしは自治会連合会が結成して50周年。自治会連合会は、これからの川越を担う小中学生や高校生といっしょにさまざまな記念事業を行います。8月9日は、「明日の川越を考える」市長と高校生の座談会が行われました。市内の高校に通っている7人が、30年後の川越の姿を発表。「バリアフリーの徹底を」「高齢者の活躍の場をもっと作る」……。若い力が、未来を創造する原動力になりそうです。

リピーターも多いんです

8月16日・17日に行われた夏休み親子リサイクル体験ツアー。ごみ処理施設を見学後、リサイクルセンターで行われた工作教室では、本棚や小物入れを製作しました。「手がしびれる」と言いながら、電動糸のこぎりや金づちを使ったり、組み上げた作品がつるつるになるまで紙やすりをかけたり。作品が出来上がっても「違う物も作ってみたい」と子どもたち。工作の楽しさを体感できたようです。



30台の卓球台を使って、熱戦が繰り広げられました

卓球好き、あつまれ！

小中学生と高校生を合わせて約280人が参加した、川越市小中高生卓球大会。15回目となることは、8月20日に川越運動公園総合体育館で行われました。ふだんは学校単位で大会に出ている皆さんにとって、この大会は自分の力を試す絶好の機会。「試合を通して、卓球をもっと好きになってほしいですね」と川越市卓球連盟会長の小野滋さん。

練習では、同じ動きを何度も繰り返します。この競技には個人の技術の高さと力強さだけでなく、全員の息の合った動きが要求されるためです。三年生を中心に、声を出して励まし合いながら、動きと共に気持ちも一つになっていくようでした。

「自分たちがダンスを楽しんだおまけが優勝です」と世界大会の感想を話す部員の皆さん。ダンスがほんとうに楽しいようです。そして、この夏からは三年生が引退し、二年生中心のチームへ替わります。「先輩が連れて行ってくれたステージを後輩にも」。世界大会三連覇を目指して練習が始まりました。



七月二十三日、オーストラリアのアデレードで行われた「ミスダンスドリルチーム世界大会」のソングリーダー部門で二連覇を達成した、BOMBERS。バスケコートほどのステージを使い、音楽に合わせて躍動的なダンスをするこの種目は、チアリーダーに似ています。



かわいそ
川越
ぴと
17